

本製品は金属で製作している部位もございますので、取り扱いには怪我の無いようお気をつけ下さい。  
飾り付けには手袋等の使用をお勧め致します。

### 胴の左側

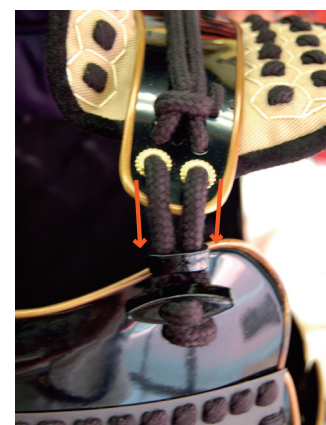


前胴、後胴の蝶番を引き合わせて、上からピンを入れます。

### 胴の右側



前胴が前面に来るようにして、引き合わせの緒を結びます。結び方は色々ありますが、蝶結びで構いません。



③責絆を引き下げて輪を窄めます。



②胸板側の笠絆を輪の中に通します。



①肩 upper 側の責絆を根元側へ寄せ、輪を作ります。

高紐の留め方

その参



⑤胴を付けます。  
後ろから後胴の肩 upper 上を芯木に乗せ、前胴を高紐で留めます。※高紐の留め方を参照  
左側の蝶番をピンで留め※胴の左側を参照  
右側の引き合わせの緒を結びます。※胴の右側を参照

その貳



④芯木に箆手（はて）を結び付けます。（包んであった紙を丸めて箆手の中に詰めます。）  
※箆手の付け方は下記をご参照下さい。

### 箆手の付け方



肩の紐を芯木の首に巻き付けて結びます。

脇の紐は、芯木の足の付け根で結びます。

その壱



①芯木を組み立てて、鎧櫃の上に置きます。（傷防止のため鎧櫃の白い紙は取らない）  
②鎧を包んであった布を畳んで芯木の足元に乗せ、佩楯（はいだて）を写真の位置に巻き、後ろで結びます。  
③佩楯の前に臈当（はらひだて）を置きます。（篠臈当には包んであった紙を丸めて詰めます。）  
※臈当の左右は下記をご参照下さい。

### 臈当の左右の見分け方



篠臈当は、革が内側

筒臈当は、立拳の大きい外側

※上記以外は、左右どちらでも構いません。

# 甲冑の飾り方

当世具足編



応接室、床の間、玄関ホール、店舗のディスプレイなどにお飾り下さい。

等身大現代甲冑  
鎧の光山堂



完成

⑨兜を乗せて忍緒を締め、前立や鍬形を付けて完成です。  
※忍緒の結び方は、蝶結びで構いません。



⑧面頬を付けます。  
※面頬の位置をご参照下さい。

面頬の位置

紐の長さは耳の内側で調節できます。  
鼻と芯木の出っ張りの位置を参考に調節して下さい。



その五

袖の付け方



①袖を付ける紐は小鰭の下に隠れています。付けにくい場合は胴を飾る前に付けてしまっても構いません。



②小鰭をめくって紐を引き出します。



①小鰭側の責鞆を根元側へ寄せて輪を作り、袖側の笠鞆を輪の中に通します。



①責鞆を引き下げて輪を窄め、小鰭を元に戻します。



⑥帯(繰り締めの緒)を腰に結びます。  
⑦袖を肩に付けます。  
※袖の付け方をご参照下さい。



大袖の紐類はこの写真を参考に結んで下さい。